

3 年 間 保 存

F8-008

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果		補修内容
					良	不良	
作業装置	30	ブレード、バケット、アーム、リンク	き裂、変形、摩耗、取付	目視、探傷器	✓		
	31	バケットコントロール	所定の角度で停止（ポジショナー）、所定の高さで停止（キックアウト）	目視、操作、スケール	—	—	—
	32	アタッチメント（リッパ等）	作動、き裂、変形、摩耗、取付	目視、探傷器	✓		
	33						
油圧装置	34	作動油タンク	油量、汚れ、油漏れ、エア漏れ、ブリーザの日詰まり、取付	目視、石けん水	✓		
	35	フィルター	汚れ、目詰まり、油漏れ	目視	✓		
	36	配管（ホース、高圧パイプ）	き裂、損傷、老化、ひび割れ、油漏れ、取付	目視	✓		
	37	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、負荷時吐出量、吐出圧	目視、聴診、触診、テスター	✓		
	38	HST用付属弁（ポンプコントロール、プレッシャオーバードラム）	前後進の切換、中立、油漏れ	目視、操作	✓		
	39	油圧モーター（走行用）	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、聴診、触診、テスター	✓		
	40	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打こん、き裂、曲がり、擦り傷 ブレード用 リッパ用	目視、操作、スケール	✓		
	41	方向制御弁	作動、油漏れ、取付	目視、操作	✓		
	42	電磁弁	作動、異音、異常発熱、油漏れ	目視、操作、聴診、触診	✓		
	43	圧力制御弁	作動、油漏れ	目視、操作	✓		
	44	流量制御弁	作動、油漏れ	目視、操作	✓		
	45	逆止め弁	作動、油漏れ	目視、操作	✓		
	46	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、破損、油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、聴診、触診	✓		
47							
操作	48	操作レバー	ストローク、がた	目視、操作、スケール	✓		
	49						
安全装置・車体関係等	50	車枠及び車体	き裂、変形、取付	目視	✓		
	51	キャブ及びカバー（ROPS含む）	き裂、変形、腐食、雨漏、ロック・施錠、ガラスの破損	目視、操作	✓		
	52	座 席	調整、ロックの作動、取付	目視、操作	✓		
	53	シートベルト	損耗、効き具合、取付	目視、操作	✓		
	54	昇降設備及び滑り止め	き裂、損傷、変形、取付	目視	✓		
	55	連結装置	き裂、損傷、取付	目視	✓		
	56	レバーロック	効き具合、損傷、変形	目視、操作	✓		
	57	作業装置安全ピン及び安全リンク	き裂、損傷	目視、探傷器	✓		
	58	表示板	損傷、取付	目視	✓		
	59	灯火装置、警音器、方向指示器、窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ破損、浸水	目視、操作	✓		
	60	計器類	作動	目視	✓		
	61	後写鏡及び反射鏡	汚れ、損傷、写影	目視	—	—	—
	62	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓		
63							
総合	64	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓		
排ガス装置	★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	—	—	—
	★						
事業要請への等	次回特定自主検査実施年月 H30 年 10 月						
	オイル等は、使用前に点検して下さい。						
補 修 等 の 措 置 内 容							
照会No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補 修 実 施 内 容			
1	エアーフィルター汚れ		H29.10/21	エアーフィルター清掃			
2	エンジンオイル不足		4	エンジンオイル補給			
備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★及び★★印は、安衛法上及び建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づき決められている検査項目であるが、そのうち★★印は同指針にのみ基づく検査項目である。						
	記号	交換	修理	調整	締付	清掃	給油水
	X	△	A	T	C	L	—